

動詞の基本をつかもう【解答】

まずはここを確認 動詞の3つのポイント

① 何を表す？

動詞は、動作・作用・存在などを表す言葉です。

走る＝動作

ある・いる＝存在

② 言い切りの形

文の中で形が変わっていても、言い切る形に戻して考えます。

遊んだ → 遊ぶ

③ 形が変わる＝活用

同じ動詞でも、後ろに続く言葉などによって動詞の形が変わります。

読む → 読ま（ない）

読む → 読ん（だ）

動詞ってどんな言葉？

問1 動詞を一つ選びなさい。

次のうち、動作を表す動詞はどれですか。

ア 走る イ 青い ウ 教室

答え ア

「走る」は動作を表す動詞です。

問2 動詞を一つ選びなさい。

次のうち、存在を表す動詞はどれですか。

ア 静かだ イ いる ウ 子ども

答え イ

「いる」は人や動物などの存在を表す動詞です。

言い切りの形

問3 言い切りの形に直しなさい。

「弟が公園で遊んだ。」の動詞を言い切りの形に直しなさい。

答え 遊ぶ

文中では動詞の形が変わっていますが、言い切りの形は「遊ぶ」です。

動詞は形が変わる

問4 正しいものを選びなさい。

「本を読む」「本を読まない」「本を読んだ」には、どれにも動詞「読む」が使われています。動詞「読む」の形が文の中で変わることを何といいますか。

ア 活用 イ 修飾 ウ 接続

答え ア

動詞が文の中で形を変えることを「活用」といいます。